

ケーブルストリッパ CBS-5C の使い方

CBS-5Cは外皮と中心導体の切り出しを同時に行え、外皮剥き(B寸法)は6.35mmに切り出しができます。中心導体(A寸法)は実測し、付属の芯線切断用の刃で切断してください。

ケーブルの端末加工

良く切れるカッター又は、ニッパーでケーブル端末を垂直に切断してください。

ケーブルは断面変形、斜めにカットされていない事を確認してください。(図1参照)

図1

ケーブル断面

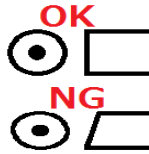
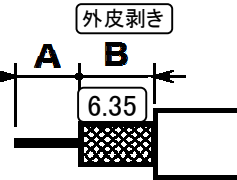


図2

加工寸法(mm)



ケーブルセクタ

・ケーブルの種類によりケーブルセクタをスライドさせます。

58 : RG58、3C相当

59 : RG59、4C相当

6 : RG6、5C相当



・上部2ヶ所の六角ネジで刃の高さ調整を行います。

お使いになるケーブルで数回切り出しを行い調整してからご使用ください。

(調整用の六角レンチは本体に付属します。)



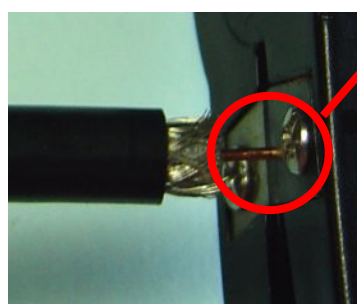
・ハンドルを指でつまみ口を開き、ケーブルを挟みます。



・ハンドルを放してケーブルを挟み込みストリッパを3~5回程度回転させます。

(ケーブルの編組をきり過ぎないように注意してください)

・ストリッパの口を開けてケーブルを取り出し、ケーブルの屑を取り除きます。

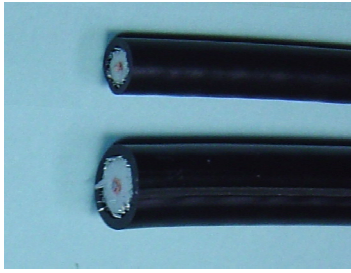


・中心導体を工具横の刃で規定の寸法に切断してください。

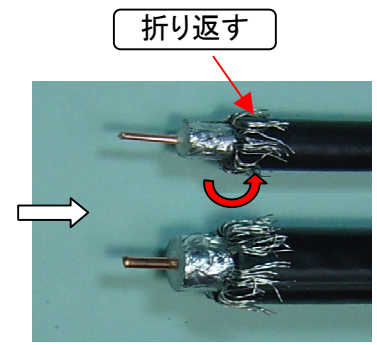
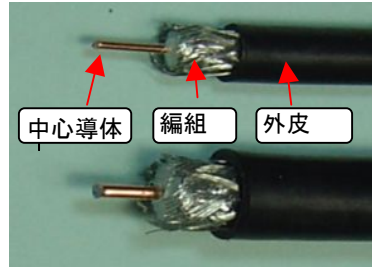
・ケーブルの編組をすべて外皮側へ折り返します。

ケーブル端末加工 見本 (上:RG6 下:RG11)

加工前



加工後



※注意 中心導体は指で触れないでください。

編組が中心導体に巻き付いている場合は取り除いてください。

中心導体に傷がないことを確認してください。